

スラックスの折り目破れ



クリーニング後、スラックスの前部折り目に、ひざから裾に向かってまっすぐ約5cmほどの破れが生じていました。クリーニング前に数回着用したもので、クリーニング店の受付では、折り目が消えてシワになった状態では、破れの有無ははっきりしませんでした。破れ部分を拡大鏡で観察すると、折り目に沿ってタテ糸と直角にヨコ糸のみが切れ、その先端はささくれ立っています。スラックスの裏側の傷口周辺は、表側と表面が多少違う以外は、風合い、外観に変化はありません。

組成表示 ウール100%（トロピカル織物）

発生原因

素材がサマーウールの平織り組織生地で、折り目に沿ってヨコ糸が切れているので、引っ掛け、カギ裂き、すり切れ、刃物での裁断やアイロンの焦げ、薬品による溶解のいずれとも考えられません。状態から原因を分析・整理してみましよう。

1. 同じ毛であっても、タテ糸は羊毛のウール、ヨコ糸はモヘヤウールと繊維のタイプが異なっている
2. 破れはヨコ糸のみなので、モヘヤウールのみが切れたと推定できる
3. アイロンプレス効果が最もシャープにでていたひざ下部分が破れていた
4. 文献によると、モヘヤ（アンゴラ山羊）毛は、周辺のキューティクルが硬く、シャリ味があるので、夏用衣料によく用いられているが、繊維の強さを維持する毛髓がないので、物理的強さは十分でないとの記述がある

以上から、この破れはクリーニング店で洗浄したスラックスにシャープなクリーズラインをつけたことが逆効果となったものといえそうです。